

乗鞍

大崩山・猫岳

長谷川

【日時】 2012年2月4日(土)～5日(日)

【メンバー】 L木下、野村、前田(工)、前田(奈)、長谷川

乗鞍岳の北端に位置する大崩山・猫岳。周辺も含めて移動距離が長いため、今まで敬遠していたが、素晴らしい展望と雪質が楽しめた。

【2月4日(小雪)】 久手牧場～第三尾根BC～夫婦松～乗鞍スカイライン 2150m

久手牧場近くの退避場に車をデポして、牧場入口の林道を利用して出発する。牧場を過ぎた1650m付近で、野村さんのビンディングにトラブルが発生した。鋼製ケーブルが腐食でちぎれてしまったようで、これ以上の登行のは厳しいと判断して予定より下部でBCを設置する。(下山も考えたが、翌日の天気と標高がまだ低いことを考慮して、翌日のためのトレース付けに第3尾根を



猫岳を目指す

2150m付近まで登る。夫婦松より上部の尾根は、スキーで滑る斜度としては緩く、所々ストックで漕ぎながらの滑りとなる。BCまでは登りトレースを外し、沢型の疎林を滑る。膝位にたまった乾いた新雪が気持ちよく、BCを通り越すところだった。初日から嬉しい活動となった。

【2月5日(晴れ)】 BC～大崩山～猫岳～BC～久手牧場

朝テントから顔を出すと澄んだ空が広がり、日が昇り始めていた。今日は絶好のスキー日和になりそうだ。早々に準備を済まし、昨日付けたトレースに沿って第3尾根を登る。夫婦松の台地は、風の影響か、トレースは消えていたが視界も良く歩きやすい。高度が上がるとともに、北アルプスの展望が目の前に広がり出す。



夫婦松の台地

大崩山山頂へは、針葉樹の樹林をかき分けて辿りついた。風も弱く 360 度の展望を眺め、正面に構える猫岳へ向かう。

だいぶ風に叩かれているようで、猫岳取り付きでクトーを取り付けて山頂に到着。大崩山と変わって、風が強い。晴れているとはいえ、さすがに寒くシールのまま再び大崩山へと移動する。

山頂下で、展望を楽しみながら小休止して第3尾根を滑り降りていく。山頂下の尾根を北よりに新雪を探しながら滑る。底はあるが、スキーが走りやすく、心地よい新雪の斜面を楽しんだ。BCまでは雪質も良く、斜度が緩い部分はトレースに乗っかり、あっという間に滑り降りて行く。

ようやく訪れることの出来た乗鞍北面エリア。山頂から見渡すとルートは色々と考えられそうで、新雪の時期にまた訪れたいエリアだ。



大崩山山頂



エさん



木下さん

【行程】

- ・ (2月4日) 久手牧場(8:45)～第3尾根 1600m付近BC(10:30)～乗鞍スカイライン 2150m付近(13:30)～BC(15:00)
- ・ (2月5日) BC(7:00)～大崩山(10:30)～猫岳(11:00)～BC(12:30)～久手牧場(14:30)

【地図】 焼岳、乗鞍岳



奈映さん